

火星での旅

川西 遠紀

二〇五〇年八月二十日

今日は火星探査の初日。粗棒であるモグラス型ロボットととむに火星まで来た。そして今ほロボットがこの場所での作業を終えたの地、い動しているところだ。

このモグラス型ロボットの名前は、モグラスという。このロボットは、土を速いスピードでほたり、人を乗せることが出来る。そして

球形になって転がっての動したり、土の中の成分を調べることが出来る。

そして今次の目的地に着いたところだ。そして中にはだれもいないところをかくにんしてモグラスには、また作業を始めたようだ。

そのあと、すでに自分ばかりか、おきると、モグラスは、たまたまのほうから音がする。モグラスは何かとぶつかって、いるようにお。モグラスは、おのりか、

中に入ると、下に何かかたいものがある。

それ出岩板たつたようで、これが「モグラ」
の動力を、止めていたのだが、あの「ド
リル」を使つて山板をムだいてから「モグラ」
を中に入れた。そして、「モグラ」から出して
きた。この今日の仕事は終わった。

次の日、「モグラ」の穴をほると中にたし
うした。これは、この原因はネジがゆるん
びたこと、ネジをしめ直したら動いた。この
ようないやうにならないよう、ネジがゆるん
でいないかチェックすると、甲あしでいるか

し、力があつたので、しめ直した。そして、動
かないように切つておいた電源をつけ、あ
つた動力かたしめてから、「モグラ」を
穴の中に入れた。そして、その場所での作業
が終わり、い動して、谷に落ちた。

終わったかと思つたら、「バラシ」トが
とれた。この「バラシ」トは、あふかじめ
意をたいては、その目的地を谷の底に
おいたようだが、谷の底で調査しようとし
た

時のこと、見たことのない虫のよ様な生物が

こちらに来ました。その生物は、地球上のどの生物ともいっちぎれません。かゝるわけだから、丸まることのできないガンダムシのようです。とほんざつしていろいろうちに「モグラ」の作業が終わったようか。そして、「モグラ」に乗って、乗って来たスペースシャトルのあるところにをどりました。そして地球に帰りました。火星で見つけた生物について、論文を発表すると、新種として知らるんを知らせた。次の探査も大相棒と共に調査したい。